

四川外国语学院
2006 年研究生入学考试试题
基础日语

答题要求：所有答案必须写在答题纸上，否则不计分。全卷 150 分，3 小时完成。

問題一.. 次の下線部の言葉を漢字にせよ（8 点）

- (1) 依然として長期不況にアエいでいる。
- (2) 幼虫はそのエモノを食べて育っていくわけだ。
- (3) ここは一年の半がキリサメに包まれたようになります。
- (4) 周りの人たちをゾウオに満ちたまなざしでにらみつける連中がいる。
- (5) 物はマレなるを持って貴しとなすのだろう。
- (6) けらの穴掘りだけは実にタクミである。
- (7) そいつをムゾウサに袂に突っ込んだ。
- (8) 出発に当たって私はひとつのチカイを立てた。
- (9) 社会の変化に応じて新しい創造をイトナまねばならない。
- (10) 僕は自分の罪の深さに心がミダれた。

問題二.. 次の下線部の漢字を片仮名に直せ（8 点）

- (1) ときどききょうしんしょうのかるい発作におそわれる。
- (2) トンネルのなかでこえががんがん響く。
- (3) 菜種油をとってそれをとうゆにしたんですよ。
- (4) あめがよくふったものだから黴をはやしてしまった。
- (5) 師走のこえをきくと、なんとなくこころせわしい。
- (6) たにんのめをいしきしない傍若無人のふるまい。
- (7) あのこどもようじてんしゃもきつとかれらの仕業だった。

- (8) 逆らうことのできないれきしのながれ。
(9) 私のときはしょうがつこうもちゅうがつこうも候文でした。
(10) 磯ちかくでもかなりふかいところなのです。

問題三. 次の文の（ ）に入る言葉はどれか。それぞれA～Dから一番いいものを一つだけ選び、その番号で記入せよ（10点）

- ① この問題を（ ）二つの意見が対立している。
A. めぐる B. しぼる C. かざる D. かかえる
- ② 田中さんの性格（ ）、そんなことで納得するはずないよ。
A. だからといって B. だからして C. からして D. からといって
- ③ これは芸術的才能のある橋本さん（ ）の作品だと思います。
A. らしい B. ばかり C. ならでは D. にほかならない
- ④ お金がなくて海外旅行（ ）、国内旅行もいけなかった。
A. どころか B. ところが C. ところに D. ところで
- ⑤ 学生は校則を（ ）、スカートの丈を短くしている。
A. をほかに B. 以外に C. をよそに D. をそとに
- ⑥ 鈴木さんが教えてくれ 一生懸命勉強した（ ）、不合格のショックは大きかった。
A. だけに B. だけで C. だけあって D. ところ
- ⑦ たとえ喧嘩に（ ）、いじめられようが、彼は決して泣かなかった。
A. 負けようが B. 負けようと C. 負けるが D. 負けても
- ⑧ 親に対してそんなことを言う（ ）ではない。
A. もの B. ところ C. こと D. の
- ⑨ もう子供ではないから、そんなにくどくどいう（ ）。
A. わけにはいかない B. にはおよばない
C. までもない D. ものだ
- ⑩ バブルがはじめてからは、土地の値段は下がる（ ）だ。
A. 一方 B. わけ C. もの D. こと
- ⑪ 雨の夜に一人で部屋にいと、寂しい（ ）。
A. ところだ B. かぎりだ

- C. までもない D. とはかぎらない
- ⑫ 医者にしたって、必ずしも自分の健康に気をつけている（ ）。
- A. はずがない B. わけがない
C. といえなくもない D. とはかぎらない
- ⑬ 生徒を殴っておおけがをさせるなんて、教師にある（ ）行為だ。
- A. まじき B. えない C. べき D. ざる
- ⑭ 田中先生は最近どんなことについて、（ ）いらっしゃるんですか。
- A. ご研究されて B. ご研究なさって
C. ご研究いたして D. ご研究して
- ⑮ こんな珍しい写真、渡辺部長に（ ）お喜びになるでしょう。
- A. お見せになったら B. お目になったら
C. 見られたら D. お見せしたら
- ⑯ 開店 50 周年を記念しまして、特別セールを行いますので（ ）。
- A. ご案内願います B. ご案内申し上げます
C. ご案内いただきます D. ご案内させます
- ⑰ こちらに（ ）大事なことがございます。
- A. お話してあげたい B. 拝聴したい
C. 聞かしてもらいたい D. お耳に入りたい
- ⑱ 工事中（ ）、お足元に十分ご注意ください。
- A. ことから B. につき C. だけあって D. とあって
- ⑲ 風雨は弱まる（ ）、ますます激しくなる一方だった。
- A. わけか B. ところで C. までもなく D. どころか
- ⑳ 松本さんの提案を読み上げると、部長はだめだ（ ）首を振った。
- A. とばかりに B. かと思うと C. かのよう D. とあって

問題四. 次の（ ）の中に、後の副詞の中から最も適当なものを記号で書き入れよ（同じ語を 2 回使わないこと）（10 点）

- (1) （ ）検事というだけあって、彼は少々のことでは驚かない。
- (2) 彼女には子供がいたからって（ ）驚くに足りない。

- (3) 人生は（ ）朝露のようなものだ。
- (4) 彼に会えなくても（ ）声だけでも聞きたい。
- (5) 平社員の給料じゃ（ ）知れているよ。
- (6) 仕事の成功は君の名誉にもなり、（ ）会社の発展にもつながるのだよ。
- (7) 子犬は（ ）に母犬の懷に飛び込んだ。
- (8) 夫の手料理は（ ）捨てたものでもない。
- (9) あんな奴と仲直りするくらいなら（ ）死んだほうがましだ。
- (10) 彼は普段細君に全然頭が上がらない。（ ）例外はあった。酔っ払っていると
きである。

A. むしろ	B. さすが	C. もっとも	D. せめて	E. ひいては
F. 敢えて	G. たかが	H. まんざら	I. まっしぐら	J. いわば

問題五. 次の下線部の言葉の意味を A～D から選び、その記号で答えよ (10 点)

- 仕事と家事は両立できないと苦情を言う奥さんはけっこう多いらしい。
 - 家族で分担することができない。
 - 勢不両立の意。
 - 夫婦分けてことができない。
 - 相対する二つの事が同時に成り立つことができない。
- ある二人はまるで雲泥の差であろう。
 - 差が大きいことに例えられる。
 - きれいと汚れの例え。
 - 価値のあるものとないものに例えられる言い方。
 - 品物の質の高いことと低いことの例え。
- 四百四病のほか
 - 現代都会人の病のこと。
 - 治れない病の言い方。
 - 恋の病, 恋煩いの意。
 - 風土病の俗語。
- 日本語には「穴あれば入りたい」という諺がある。
 - 蟻や鼠などが穴を見付ければ入りたいこと。
 - 体を隠そうほどの恥ずかしさの例え。
 - 雨に降られない時の言い方。
 - いくじなし者の例え。

5. 鴨の水掻き

- A. 他人を隠して悪事をする例え。
- B. 春になると鴨が川を泳いで楽しそうなことなことの例え。
- C. 鴨が水を掻いて魚を捕る例え。
- D. 人知らず苦勞することの例え。

6. 休暇依頼を渡しましたか。

- A. 何かをやらせること。
- B. 何かをやってもうらうこと
- C. 頼むこと、請求のこと。
- D. 頼りにすること。

7. ただ一向に念仏すべし。

- A. 全くの意。
- B. 心を他に向けず、ひたすらの意。
- C. 前にあったときから今までの意。
- D. ずっと、いつもの意。

8. 検討にあたいするご意見です。

- A. 問題となる事柄について、いろいろな面からよく調べて考えるの意。
- B. 欠点と過ちを検査して、深く反省するの意。
- C. 基準に合うかどうかを検査して、合格・不合格などを定めること。
- D. 変調したことを直すこと。

9. 本日お招きした講師は、SONY 会社の取締役です。

- A. 講演などである話題について話をする人。
- B. 文芸者を尊敬する呼び方。
- C. 大学などで職業として授業を担当する人。
- D. 大学などで助教授以下、助手の上に位する教員の職名のこと。

10. 明日広島大学で中国語の弁論大会があるそうだ。

- A. 大勢の前で筋道を立てて自分の意見を述べること。
- B. 正反対の意見の持ち主が互いに論じ合い、相手の矛盾点を指摘すること。
- C. 相手の意見を批判して、自分の意見を主張すること。
- D. 言い争うこと。

問題六. 次の各文句に最適なもの（ ）から選び、その記号で答えよ（10 点）

- 1. 宇宙人の存在が（A. 相変わらず B. 依然として C. 平気として）確認されていないことは、誰も知っている。
- 2. この2・3日の（A. あいだ B. うち）にお伺いしてもよろしいでしょうか。

3. 僕はあいつと (A. 相手 B. 先方 C. 向こう) にしない。
4. 今度の事故による死傷者が既に数百に (A. 上がって B. 上って) いる。
5. 飲み終わったら, (A. あき B. から) 缶をゴミ捨て箱に入れなさい。
6. (A. 諦めて B. 思い切って C. 断念して) この商売を始めることにした。
7. いつでも大宮さんの所へ行くと, 胸が (A. あく B. すく) ようになる。
8. 先に風呂に入っ (A. たあげく B. たすえ C. てから) 食事にしよう。
9. 閉め (A. あげた B. 終わった C. 切った) 部屋の中に長くいると, なぜ頭が痛くなるか。
10. あいつは, 人情の (A. 浅い B. 淡い C. 薄い)、冷たい奴だよ。
11. これは (A. あたかも B. いかに C. いかにも) 子供が嬉しそうな映画だ。
12. 私は外国語は (A. ちょっと B. ちょうど C. まるで) 駄目なんです。
13. 失敗にくじけずに (A. 新しい B. 新たな) 気持ちで頑張ろう。
14. 梅雨が終わって, 空が (A. あっさり B. からっと C. さっぱり) 晴れ上がった。
15. ぼんやり歩いていて, (A. 危うく B. 今にも C. 殆ど) 自動車にぶつかるところだった。
16. 私は学会にも出たいし, (A. おまけに B. しかも C. その上 D. それに) 秋の京都も見たい。
17. あの人, (A. あまり B. 大して C. 別に) 偉くもないのに, いつも威張っている。
18. こんな珍しい果物は, うちでは (A. あまり B. それほど C. めったに) 口に入るものではない。
19. この割り算は割り切れない。7を3で割ると, 1 (A. 余る B. 残る) わけです。
20. 彼は酒を飲むと, (A. 過ち B. 誤り C. 間違い) を起こす人だ。

問題七. 次の各文の下線部にどんなものを入れたらいいか。その記号で答えよ (10 点)

1. 「1ヶ月分の給料を一晩で飲んでしまうような生活態度では, 将来が思いやられる

よ。」

「なあに、_____さ。ところで、5千円ほど貸してくれないか。」

2. ほら、あの人は、最初は大したことじゃなかったが、物凄く頑張って、抜群の実績でクラスメートを追い越してきた。さすがに_____なあ。

3. あいつ、まだ戻ってこないか。こんなに忙しいのに、どこで_____のよ。

4. さすがに_____という言葉の言ったとおりだなあ。マスコミで何回も読んだことがあるが、今度この目で見て、初めてその素晴らしさを知った。

5. 「うちの先生はいつもきついことを言うね、全く。」

「まあね。だが間違ったことは言わないからな。_____というところかな。」

6. 根拠がこれだけ揃ってるんだよ。あれはおまえがやったんだろう。そろそろ_____としたらどうだ。

7. 「8代目は歌舞伎の世界の世襲制に、疑問を持たれたようなことはありませんでしたか。」

「まあ、_____ということなのでしょうね。」

8. 「今度の中間テストがまた駄目だったのが痛かったです……」

「それは確かに残念なことです、_____を覚えてしっかり頑張きなさいよ。」

9. やっぱりおやじはいいことを言うわね。_____, 全くそのとおりじゃ。

10. 「水の化学式はHO₂じゃなくて、H₂Oなのに、あの先生は……」

「いやいや、_____という諺があるじゃろう。先生も人間じゃ。」

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| A. 良薬は口に苦し | B. 百聞は一見に如かず | C. 油を売る |
| D. 後の雁が先に成る | E. 明日は明日の風を吹く | F. 泥を吐く |
| G. 蛙の子は蛙 | H. 臥薪嘗胆 | I. 亀の甲より年の功 |
| J. 弘法も筆の誤り | k. 餅は餅屋 | L. 猿も木から落ちる |

問題八. 次の文章を読み、後の問いに答えよ（9点）

日本語は、省略の多い言語だと言われる。文法学者松尾氏は 1 と 2 の自由さと 3 の多いことをもって日本語の三大特色とした。日本語の三大特色としてこの3つを選ぶことは、あまり賛成できない。が、日本語には他の国語では

つきり言葉に出して言うところを、出し惜しみした簡潔表現の多いことは確かである。

よく言われることは「主語の省略」である。日本語では、主語を省略したというのは不適當で、実は「主語無しの表現」をするのである。

(1) お暖かになりましたね。

(2) ほんとうですね。

こんな場合我々は何かが省かれたとは思わない。初めからこういう表現を目指しているのである。理屈では、(1)は「気温が」が省かれていると言える。が、実際には「気温が暖かになりましたね」などとは殆ど言わぬ。It has become warm. の全体が「暖かになりました」に当たる。「ほんとうですね」も「あなたの言うことは」という主語が省かれたわけではない。 全体がこの場合「ほんとうだ」に相当するのである。

では、主語が省かれたと言える例はないか。ないわけではない。次のようなのは主語の省略と言えないまでも、主語の節約である。

(3) 何もございませんが、どうぞ召し上がってください。

これは という主語が言われなかったと言っていい。

主語以外の補足語では、「ある」という の補足語が、昔からよく言外に置かれる。平家物語の

(4) 我世にありし時は、娘どもを女御・後とこそ思ひしか。

の「あり」は、その前に「立派に」というような語が省かれている。徒然草の

(5) あるにも過ぎて人は物を言ひなすに……

の「あり」は、その前に「実際に」が省かれている。「たくさんある」という語句も、ただ「ある」と言うことができる。狂言の「寝音曲」で太冠者が大名に酒を注いでもらって、

(6) あります。あります。

と言う。これは「まだ残っています」の意味ではなくて「十分入っています」の意味である。

では「よい」と「ない」が、よく補足語無しで使われる。

(7)

を略して、

(8) こんな嬉しいことはない。

という表現は、よく西洋人を驚かす。「嬉しいと言ったらない」の「ない」は、「ほかに」と「こんな嬉しいことは」という2種類の語句が省かれている。「よい」は、

(9) 持ってやろうか？

(10) いいわ。

というようなときに補足語の省略が見られる。D という語句が省かれているのだ。「いいわ」の意味で「たくさん」という時の「たくさん」も同様な例だ。

(出典： 金田一春彦『日本語』)

問1. 上の文章の1～5の に最も適当な語句を次から選び、その記号で答えよ。

ア. 動詞 イ. 省略 ウ. 語順 エ. 形容詞 オ. 敬語

問2. Aに該当する部分を文章中から見付けて示せ。

問3. Bに該当するものを16字以内で補え。

問4. 上の文章中、例文(8)に最適な補足語(副詞)を補って、例文(7)を完成せよ。

問5. 例文(10)には補足語が省略されているとみられる。補うにはどんな言葉が適当か。

問題九. 次の文章を読み、後の問いに答えよ(12点)

古代の人間生活を維持するためにも、適当な自然環境が必要であったように、現代の人間生活にとっては更にその上に機械を使うことが必要条件になったと言える。この2つの生活を区別するために、古代の生活を人間の生活と言うなら、現代の生活は人間と機械の生活と言ったほうがよい。人間が自己の意志と体力だけで振舞った時代なら、人間の自由と責任はバランスしていたのだが、マン・マシン・システムの生活では、自由は法外に膨らんだのに、機械を使うことの責任については、人間は昔のままの自己意識でとまってしまったのではないか。マン・マシン・システムの秩序とはどんなものであるべきか、それが解明されない間は、道徳も、法律も、殆ど昔のままになっている。現代文明に見られる未熟さの大部分は、①こうしたアンバランスから発生する。幸いにして破滅的な失敗をしなれば、やがて人間と機械とは秩序のある関係に達するだろうけれども、1日も早く事態を認識する必要があるというものである。果して人間は賢明な道を選ぶだろうか。

急速に人間が進化するということは期待できない。人間の構造上の進化は遺伝の法則に強く制約されているから、進化論の教えるとおりに、そのテンポは極めてのろいのだ。3000 年前に生まれた赤子と今生まれる赤子との間に際立った差異はない。要するに昔のままなのだ。手も足も目も耳も昔のままなのだ。ただ一つ②ここに救いがある。脳の構造には後天的に適応してゆく余地があるということだ。文化的な遺産を脳の構造の中に遺伝することはできないが、生まれ出てから後の教育や経験で伝えてやる可能性はある。その可能性の中で、マン・マシン・システムに対する適切な対応を追加することはできないことではない。現代の教育が③それに目覚めない限り、文明の前途は暗いと思う。

一方、機械の進歩はどうであろうか。このほうには生物的制約は全くない。人間がそれぞれ原点から出発するのに比べて、機械は前の機械の到達した所から先へ進んでゆく。機械を作る機械がある限り、進歩は積み重ねてゆくことができるのである。現代の子供は生れ落ちるや否や、現代の機械と一緒に暮らすのである。

機械の歴史にも、勿論幼年期はあった。機械だか道具だか区別の付かない時代もあった。だが道具や機械が作られてきた意味については、一貫して、人間の 5 体のどこかの機能に結びつき、その働きを拡大することを目的としていた。その機能は今でもまだ局所的な機能であって、人格などに匹敵する総合的なものはないが、時代と共にその分野は広がり、人間の体の殆どどの部分とも関係をもつまでになり、その上機能を助けたり拡大する度合いは驚くほど増大したのである。この機械の存在によって、人間は自分の意志で、自分の限界以上のことを行う自由度と可能性を持つことになった。

第一次産業革命は原動機の革命であり、エネルギー革命であった。こうなると人間の労働は著しく減じるはずだったが、事実とは逆で、労働者は非常に多くなった。その代わり、従来生産されなかった多量の製品が生まれたのであって、産業革命に発展していったわけである。この時分かったことであるが、恐ろしい力を持つ機械との共同作業の間には、従来なかったような酷い災害が発生することがあることである。機械は人力以外のエネルギーを使用することによって、多くの利点をもたらした半面、不注意の結果は思わざる大きな災害をもたらすことになった。これを一言に言うなら、機械は人間の可能性に対して、正しい行為でも、誤った行為でも、両方とも増幅することになったと言える。これを裏返して考えれば、人間は古代以来のそのままの人間であっては都合が悪いのであって、昔より、遥かに誤りの少ない人間でなければ困るということになる。

機械化された人間生活には④それだけの覚悟が要るわけである。

(出典： 高木純一『人間と機械と』)

問1. 下線部①の「こうした」の指す内容を30字以内で記せ。

問2. 下線部②の「ここ」の指す内容を30字以内で記せ。

問3. 下線部③の「それ」の指す内容を30字以内で記せ。

問4. 下線部④の「それ」の指す内容を30字以内で記せ。

問題十. 次の話はあるガイドがお客に言ったものだが、その中のやりもらい表現を、人間関係と恩恵意識を踏まえて説明せよ (10 点)

この写真屋さんがうまいですが、一度行って写真を撮ってもらっ
てやっ てくださいませんか。

問題十一. 次の文句を、アスペクトとテンスを中心にして説明せよ (10 点)

明日予防注射を $\left\{ \begin{array}{c} \text{する} \\ \text{した} \end{array} \right\}$ 人は酒を飲んではいけないよ。

問題十二. 次の短文の中の中国語を日本語に直し、更にその理由を説明せよ (15 点)

李さんは会社の仕事にも次第に慣れ、上司の信頼も徐々に増してきた。今回は新しい取引先メーカーとの交渉を任せられ、無事に商談成立にこぎつけた。

木下課長は今後の付き合いを考慮に入れて、先方の長谷川部長を接待することにし、并把接待任务交给了小李。

問題十三. 次の中国語を日本語に直せ (12 点)

节日那天，到处张灯结彩。孩子们纷纷去神社敲鼓。神轿也抬了出来，年轻人抬着它满街满村地转悠。夜幕降临时分，人们成群结队来到神社。神社周围人山人海，人们相互拥挤着推搡着。

孩子们都给穿上了漂亮的和服，由父母拉着手去神社祭拜。一进山门，小商店鳞次栉

比。店铺里摆满了各种玩具和糕点。孩子们死缠着父母亲给他们买这买那。

問題十四. 次の1～8の文句の意味に最も近いものをA～Dから一つだけ選び, その記

号で答えよ(4点)

1. 病にて死にけり。
 - A. 病気のために死んだそうだ。
 - B. 病気で死なないか。
 - C. 病気で死ぬだろう。
 - D. 病気で死ぬじゃないか。
2. 鐘の声す。明けぬなり。
 - A. 鐘がする。夜が明けないのだ。
 - B. 鐘がする。夜が明けたことである。
 - C. 鐘がする。だが、夜が明けないのだなあ。
 - D. 鐘がする。夜が明けたようだ。
3. 後に迎へに来む。
 - A. 後で迎へに来るものか。
 - B. 後で迎えに来ないだろう。
 - C. 後で迎えに来よう。
 - D. 後で迎えに来なさい。
4. 花こそ咲き出でしか。
 - A. 花よ 咲き出でくれ。
 - B. 花がまあ咲き出たのかなあ。
 - C. 花が咲き出るかしら。
 - D. 花がまあ咲き出た。
5. かぐや姫いといたく泣きたまふ。
 - A. かぐや姫は一度泣きたくなるのだ。
 - B. かぐや姫はひどくお泣きになる。
 - C. かぐや姫はつらくて泣き出した。
 - D. かぐや姫はもっと泣きたくなった。

6. 京に思ふ人なきにしもあらず。
- A. 都に恋しい人いないのよ。
B. 都に思ってくれる人いないのだ。
C. 都に恋しく思う人がいないわけでもない。
D. 都に恋しい人が来たのだ。
7. 花散り過ぎぬべし。
- A. 花が散り落ちないに違いない。
B. 花が散りすぎないようにしろ。
C. 花が散りすぎることはないはずだ。
D. 花が散り落ちてしまうだろう。
8. 何とも思はずやありけむ。
- A. 何とも思わなかったのだろうか。
B. 何とも思わなかったわけだ。
C. 何とも思わないふりだ。
D. 何とも思わずにはいられない。

問題十五. 次の下線部の助動詞の名称と活用形を説明せよ（6点）

1. 年ごろ思ひ①つること果たし侍り②ぬ。聞き③しにも過ぎて尊くおはし④けれ。
2. 鬼の⑤やうなるもの出で来て、殺さ⑥むとしき。
3. 旅にしてももの恋しきに鶴が音も聞こえ⑦ざりせば、恋ひて死な⑧まし。
4. 老い⑨ぬれば避ら⑩ぬ別れのありと言へばいよいよ見まくほしき君かな。
5. 月ばかりおもしろきものあら⑪じ。
6. 子安の貝をふと握り持たれば、うれしく覚ゆる⑫なり。

問題十六. 次の各文の（ ）の中の用言を適当な活用形に改めよ（6点）

1. 空澄む月の影ぞ①（流る）
2. 日数の②（過ぐ）ほどぞ物にも似ぬ。
3. 家極めて③（貧し）して世を過ぐすに頼りなし。
4. 昔よりかしこき人の④（富む）るはまれなり。

5. 長くとも四十に足らぬほどにて⑤(死ぬ)むこそ⑥(目安し)べけれ。
6. かかることは文にも⑦(見ゆ)ず、⑧(伝ふ)たるをしへもなし。
7. 道を⑨(求む)んとして、教へを乞ふ。
8. 猿も木より⑩(落つ)ことあり。